

## 用語集

用語	意味	ページ
エコ通勤	「クルマから、環境にやさしいエコな通勤手段に転換する」 として、国土交通省が「地域環境の改善」や「公共交通サー ビス水準の向上」、「地球温暖化防止」、「中心市街地の活性 化」等を目的として推進している施策。	51、67
LRT（Light Rail Trangit）	低床式車両(LRV)の活用や軌道・電停の改良による乗降の 容易性、定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有 する軌道系交通システム。	50、51、 52、61
OD 調査	OD とは起点 (Origin) と終点 (Destination) を指す。交通 機関の場合は、調査期間中に利用した全員の乗車駅・停留所 と降車駅・停留所のペアを集計する。	31
オープンデータ	総務省によれば「国、地方公共団体及び事業者が保有する官 民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容 易に利用（加工、編集、再配布等）できるよう、次のいずれ の項目にも該当する形で公開されたデータ」と定義される。	51、57、 58、68
環境負荷	人の活動により環境に加えられる影響であって、環境保全 上の支障の原因となる恐れのあるものを指す。交通分野に おいては、移動によって生じる CO2 の排出量が主に問題と され、少数の人間しか移動できない自家用車・タクシーより も、大勢の人が一度に移動できる公共交通のほうが環境負 荷が低いと考えられる。	1
基幹軸	公共交通計画等において、鉄道・LRT・BRT 等（運行頻度 の高い路線バスも含む場合がある）の大量輸送交通機関に よって、移動を可能としているルートを指す。	47、48、 52
グリーンスローモ ビリティ	時速 20km 未満で公道を走ることができる電動車を活用し た小さな移動サービスを指す。	51、59、 60
クロスセクター効 果	地域公共交通の価値を収益＋自治体補助のみで捉えず、よ り広範な分野において地域公共交通が担っている多面的な 効果を指す。地域公共交通を廃止した時に追加的に必要と なる多様な行政部門の分野別代替費用と、運行に対して行 政が負担している財政支出を比較することで把握する。	68
公共交通	鉄道や軌道（路面電車）、バス、タクシー、航空機、船舶な ど、不特定多数の人々が、所定の運賃を支払えば自由に利用 することができる交通機関。	

用語	意味	ページ
公共交通不便地域	鉄道駅やバス停留所と一定距離以上離れており、公共交通による移動に不便を来している地域を「公共交通不便地域」と呼ぶ。本計画における詳細な定義は P34 を参照。	34、35、 43、59、 64
交通系 IC カード	電車やバス、市電と言った交通機関の乗車券機能を備える電子マネーの総称で、Suica・PASMO などの全国相互利用可能なタイプと、OKICA などの地域限定で利用できるタイプがある。	51、63、 64
交通需要マネジメント (TDM)	自動車の効率的利用や公共交通への利用転換など、交通行動の変更を促して、発生交通量の抑制や集中の平準化など、「交通需要の調整」を行うことにより、道路交通混雑を緩和していく取組みを指す。	50、51、 65、66
シェアサイクル	相互利用可能な複数のサイクルポートが設置された、面的な都市交通に供されるシステムを指し、「コミュニティサイクル」「自転車シェアリング」とも呼ばれる。近年では電動バイクや電動キックボードのシェアリングサービスも登場している。	51、60
シャトルバス	イベント会場や空港・観光地など特定の目的地を利用する乗客を効率的に輸送するため、短い間隔で運行するバス。	27、39
生産年齢人口	社会の生産活動の中心にいる 15～64 歳の人口を指す。	8
定時性	運行路線が定められた時刻表に従って出発・到着が行われているかを示す公共交通の指標。一般的に、自家用車やバス・トラック等が混在する一般道を走り、渋滞等の影響を受けやすい路線バスよりも、線路等の専用軌道を走行する鉄道のほうが定時性が高いとされる。	3、28、 43、55
二次交通	空港や鉄道の駅から、目的地（職場、学校、商業施設、病院等）まで行くための交通手段のこと。	
年少人口	15 歳未満の人口を指す。	8
ノーマイカーデー	交通事故軽減、交通渋滞緩和、大気汚染抑制等を目的とし、公共交通機関の利用を促すキャンペーン。	51、66、 67
ノンステップ化 (ノンステップバス)	従来のバス車両に存在した段差を除去することで、社内でも段差無く料金収受・座席等を使用できる車両。車いすやベビーカーなどでもスムーズに利用できる。	43
パーク&ライド	自宅から自家用車・軽車両で最寄りの駅または停留場まで行き、駐車・駐輪させた後、バスや鉄道などの公共交通機関を利用して、都心部などの目的地に向かうシステム。	51、66、 67

用語	意味	ページ
バスナビアプリ	スマホ上でバスの時刻表や運行状況を確認できるアプリで、リアルタイムの遅延状況や走行位置なども確認可能な機能を持つ場合が多い。	51、57、58
病院送迎バス	通院者のために病院が運行する送迎バスで、一般的には無料で利用できるものが多い。	39
フィーダー交通	「フィーダー」とは交通機関における「支線」を指し、鉄道やモノレール・基幹バスなどの駅・停留所から、さらに広範囲へと接続する交通手段。	47、51、59
補助路線	利用者が少なく路線単位で赤字を出している路線バスに対して、地域住民の移動手段に必要な公共交通路線を確保するため、自治体や国が交付する補助金を受けている路線を指す。 沖縄県では市町村内を走行する路線に対する「沖縄県生活バス路線確保対策補助金」と、市町村を跨ぐ路線に対する「沖縄県地域公共交通（陸上交通）確保維持改善事業費補助金」の2種類がある。	32
MaaS（Mobility as a Service）	バスや電車、タクシー、飛行機など、すべての交通手段による移動を、ひとつのサービスでシームレスに完結させ、人々の移動の利便性を上げるサービスを指す。	50、51、63、64
モビリティマネジメント（MM）	日常生活における移動を「過度に自動車に頼る状態」から、「公共交通や徒歩などを含めた多様な交通手段を適度に（=かしこく）利用する状態」へと自発的な転換を促し、「ひとり一人の行動や意識の問題をはっきりと考えながら、交通政策を展開していこう」とする一連の取り組みを指す。	50、51、65、66、67
輸送人員	鉄道や路線バスが輸送した旅客の総人員数を指す。	32、37、41、42
ラストワンマイル	鉄道駅・バス停留所から自宅あるいは目的地までの最後の一区間を指し、高齢者等の外出に際してのネックと考えられている。	50、51、59、60、61
老年人口	65歳以上の人口を指す。	8
路線バス	予め設定された路線を、定められた時刻表に従って運行するバス。	25、27、31、40、41、43、44、45、51、54、55、57、64、68